

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

|               |   |   |     |    |            |  |           |
|---------------|---|---|-----|----|------------|--|-----------|
| 政策名           | 交流・環境   | 28年度事業・施策評価結果                             |     |    | 責任者        | 建設部<br>事業推進課長  |           |
| 施策名           | うるおいと魅力のある港湾空間の形成   | 成果  | コスト |    |            |  |           |
| 事務事業名         | 中川運河緑地(堀止地区)整備事業  | 継続  | 維持  | 維持 | 連絡先<br>連携課 | 052-654-7921<br><small>計画担当、環境担当、工事課、港湾工事事務所</small>             |           |
| 目的            | 対象(誰・何を)  | 中川運河(堀止地区)                                |     |    |            | 事業<br>期間   | 平成20~33年度 |
|               | 意図(どうい<br>う状態にしたいか)   | 人びとが港の雰囲気を楽しむことのできる水辺空間を整備し、地域環境の向上を図ります。 |     |    |            |  |           |
| 概要            | 整備場所:名古屋市中川区運河町、中村区運河町<br>内容・規模:「親まれるみなと」を実現するため、市街地の貴重な水辺空間に緑地を整備します。用地を造成し、水辺周辺一帯を緑地(1.1ha)として整備(用地・護岸、緑地)します。<br>全体工事費:12億円(平成23年度より11億円から変更)<br>事業手法:防災・安全交付金事業 |   |     |    | 根拠<br>法令等  | 名古屋港湾計画<br>中川運河再開発基本<br>計画<br>中川運河再生計画                           |           |
| 事業着手時点の<br>評価 | 中川運河(堀止地区)において、訪れた人々が海や港の雰囲気を味わうことのできる水辺環境を活用した緑地整備することにより、地域環境の向上を図ります。費用対効果(B/C)は1.4です。   |   |     |    | 実施<br>義務   | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |           |
| 29年度の実施予定     | 水辺一体の緑地整備として、東側約0.05haについて、通路舗装を行います。   |   |     |    | 関連<br>シート  | 中川運河再生計画の<br>推進  |           |

2 DO(実施)

|                    |   |        |         |       |             |   |
|--------------------|---|--------|---------|-------|-------------|---|
| 29年度に実施した<br>内容・結果 | 平成29年度に予定していた整備が入札不調により未実施となったため、事業進捗はありませんでした。 |        |         |       |             |   |
| コスト                | 単位  | 27年度   | 28年度    | 29年度  | 合計(平成20年度~) | 備考(費用の増減理由等)  |
| 工事費                | 千円  | 58,860 | 120,744 | 0     | 765,359     | 平成29年度に予定していた整備が入札不調により未実施となったため、平成30年度に繰越して実施する予定です。 |
| 人件費                | 千円  | 7,046  | 7,615   | 4,319 | 79,259      |   |
| 合計                 | 千円  | 65,906 | 128,359 | 4,319 | 844,618     |   |

3 CHECK(検証)

|                              |   |   |      |              |          |    |  |             |
|------------------------------|---|---|------|--------------|----------|----|--|-------------|
| 指標名                          |   | 27年度  | 28年度 | 29年度         | 中間目標     | 30 | 指標の説明・目標値の考え方  | 外部要因        |
| 事業進捗率(%)<br>(進行管理型)          | 目標  | 68.0  | 76.9 | 78.0         | 80.5(累計) |    | 事業進捗率は、全体工事費を100とした工事費の割合です。<br>*平成27年度行政評価において、事業完了年度を延伸し、あわせて目標値を見直しました。 | 周辺地区<br>再開発 |
|                              | 実績  | 63.8  | 73.8 | 73.8         |          |    |  |             |
|                              | 事業進捗状況(29年度)  |   |      | (順調)・やや遅れ・遅れ |          |    |  |             |
| 目標の達成度に対する評価<br>(外部要因等を踏まえた) | ささしまライブ24地区の土地区画整理事業等と一体的な整備を進めており、平成29年度に予定していた整備は入札不調により未実施となったものの、平成30年度の整備とあわせて実施するため順調に進捗しております。 |   |      |              |          |    |  |             |
| 必要性・有効性・効率性の検証               | 評価  | 評価に関する説明  |      |              |          |    |  |             |
| 必要性                          | 事業着手時に比べ必要性が低下していないか?   | ○ 堀止に隣接するささしまライブ24地区の土地区画整理事業等と連携して地元のニーズを取り込みながら整備を進めています。   |      |              |          |    |  |             |
|                              | 事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?  | ○   |      |              |          |    |  |             |
| 有効性                          | 事務事業は、施策達成に貢献するか?   | ○ 平成29年4月1日から緑地の一部を供用開始しており、人びとが港の雰囲気を味わうことのできる水辺空間を整備し地域環境の向上を図ることは、上位施策である「うるおいと魅力のある港湾空間の形成」に貢献すると考えております。 |      |              |          |    |  |             |
|                              | 期待どおりの成果が得られているか?   | —   |      |              |          |    |  |             |
| 効率性                          | 最小のコストとなっているか?  | ○ 堀止に隣接するささしまライブ24地区の土地区画整理事業等と連携して効率的に整備を進め、コスト削減に努めています。  |      |              |          |    |  |             |

4 ACTION(取組)

|                                       |            |                               |     |   |
|---------------------------------------|------------|-------------------------------|-----|---|
| 施策評価結果                                | 30年度以降の方向性 |                               |     | 判断理由  |
|                                       |            | 成果                            | コスト |   |
|                                       | 継続         | 維持                            | 維持  | 中川運河(堀止地区)について、入札不調により通路舗装の整備に至らず、平成30年度に確実に通路舗装を行う必要があるため。     |
|                                       |            | 取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。 |     |   |
|                                       | 課題         |                               |     | 30年度以降の取組   |
| 名古屋市関連事業と調整を図りながら一体的な緑地整備を進める必要があります。 |            |                               |     | 平成29年度に予定していた通路舗装を確実に行うとともに、名古屋市関連事業と連携して、引き続き、親水緑地の整備を進めていきます。 |